

2012年、夏が終わりに近づくととき

去りゆく夏を惜しむ私たちに、

甲子園のあの感動と興奮をたっぷり熱唱します！

— 西浦達雄が、あなたの夏を結んでくれる。

朝日放送 第94回全国高校野球選手権大会中継エンディングテーマ曲

(ABC朝日放送系列テレビ中継で各試合後に放送されます)

『大空のしずく』

詞・曲・編／西浦達雄

1.

行き場を失くした不安とは裏腹に、
溢れだす衝動が、僕を突き動かしてきた。
幾つもの後悔が 身を咎めたとしても
負けないくらいの希望や夢が、
生まれてはまた、消えていったあの頃。

きしむ自転車の音に決して、かき消されないように、
僕等の青春が、始まろうとしてたよね…。
悲しから泣くんじゃない、寂しから涙が出るんじゃない、
悔しいからじゃない、君のその笑顔が眩しいから。

* 君が明日になるきっと、君が夢になるよ
震える後ろ姿涙が止まらない君は、
この場所に立つ為に生まれて来たんだ、
回り道じゃなかったね。*

2.

途切れた道標に戸惑いながら、
それでもみんな歩き続けてた、
移りゆく時代を刻むように。
辛いついていう文字は、幸せに似てるけど、
辿り着けない届かない、
自分の陰を追いかけてるようだって言ったら、
息を切らせながら僕に、君は呟いたよね、
生まれて来たことの 証をみつけにいこうって…。
思い出を語るより、幼さを嘆くより
優しさをみつけるより、君のその言葉が胸に沁みて。

* ~ *

YouTubeで視聴できます

※ファンの方がアップされた映像です

西浦達雄プロフィール/シンガーソングライター・編曲

大阪市出身4人兄弟の末っ子として生まれ、オペラ歌手の父親の影響もあって音楽好きな少年として育つ。高校時代からフォーク・ソング・グループで活動を始め、ヤマハポピュラー・ソング・コンテスト関西決勝まで進む。高校卒業後ジャズ・ミュージシャンを志し、森関矢氏に師事、ジャズピアニストとして活動。その後、作詞・作曲・編曲およびシンガーとして放送番組のテーマ曲やCMソングの制作をする傍ら、中村雅俊や藤田朋子、小林恵などに楽曲を提供。87年から朝日放送全国高校野球選手権大会中継のエンディングを担当し、2012年で26年目を迎えた。現在は大阪音楽短期大学非常勤講師としても教壇に立っている。